

所属	商学部	身分	教授
氏名	笹川 浩		
NAME	Hiroshi Sasagawa		

1. 研究課題

(和文)『文学的自叙伝』の多様性と統一性

(英文) The Multiplicity and the Unity of Biographia Literaria

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要(背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文)

優れた批評家としての S. T. コウリッジ(1772-1834)の名声の主要な部分が由来する彼の『文学的自叙伝』(Biographia Literaria or Biographical Sketches of My Literary Life and Opinions, 1817年)は、その批評史的・文学史的重要小点はわかたず、そこで展開される議論が時に高度に抽象的になり、観念的になり、あるいは複雑になりという内容上の難解さに加え、その表現・言い回しが極めて晦渋であるために、未だ十分に理解されているとは言えない。

本研究の目的は、内容的に多岐にわたる多様性と難解性を特徴とする『文学的自叙伝』の基底にある一貫性、あるいは統一性を明らかにすると同時に、その多様性の中の統一性がコウリッジの思想と具体的にどのようにかわつてくると考察することである。

研究の具体的な進め方は、一年目は、『文学的自叙伝』の中の多様性と統一性に関する言説を詳細に分析し、そこを認めさせたコウリッジの思想が『文学的自叙伝』自体の構造にもあてはまることを確認した。二年目には、さらに研究対象を広げて、コウリッジの他の著書にも見られる多様性と統一性に関する言説を分析し、その多様性と統一性の考へか、「一つの生命」(One Life)の思想に基づく彼の世界観と密接に結びついていることを明らかにした。その世界観とは世界を構成するあらゆる要素が互に自身の個別の「生命」を有すると同時に、世界全体の「一つの生命」の一部に存在しているという考へで、「一つの生命」は全世界に浸透し有機的・調和的統一性を示す力と考へられている。本研究で私は、『文学的自叙伝』に見られる「多様性の中の統一性」をそのアトキンソン表現で扱ったと結論づけた。

(英文)

Despite its important position in the history of English literature and criticism, S. T. Coleridge's Biographia Literaria has not been considered enough yet owing to its obscurity both in contents and expressions.

This study has made clear the unity underlying the multiplicity of Biographia Literaria and shown that its apparently miscellaneous structure with unity in the depths is a verbal analogue of Coleridge's idea of "One Life."

4. おもな発表論文等(予定を含む)

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

「コウリッジの『文学的自叙伝』を読む(その四)」(『人文研紀要』第71号所収、  
中央大学人文科学研究所、107-129頁、2011年9月発行、査読無)

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

翻訳『文学的自叙伝』(二巻本 共訳、法政大学出版会、刊行年月未定)  
(※現在初校が2回あります。)

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)